



消防団活動を応援

安来市では、地域防災力の強化の目的で「消防団協力事業所制度」を設けています。従業員に一定以上の消防団員がいる、活動に積極的に協力しているなどが要件で、これまでに8事業所を認定。昨年12月には新たに株式会社渡部工務店が加わりました。

2人の社員が消防団員という同社。代表取締役の渡部成人さんは「仕事中に火災が発生して社員が出動したことがあり、これからも彼らの活動を応援していきたい」と話していました。

消防団協力事業所（名称略）

▼(有)中田建設▼(株)伯水工務店▼山陰温調工業(株)安来営業所▼(株)コンドウ▼アクアシステム(株)▼

(株)大島工務所▼安来運送(株)丸永建設(株)▼渡部工務店

問い合わせ…消防総務課（☎23・3410）



▲消防団協力事業所にはプレートが交付されます。



教育委員会
三輪喜美代委員

新しい教育委員に三輪さん

任期満了に伴い安来市教育委員に三輪喜美代さん（伯太町）が任命されました。任期は、平成28年11月9日から4年間です。現在、市の教育委員会は教育長および教育委員4人で構成。毎月開催する委員会定例会では、市内の小中学校の運営状況や教育問題等について意見が交わされています。

新しい選挙管理委員が決まりました

任期満了に伴い次の皆さんが選挙管理委員に選任されました。任期は平成28年11月8日から4年間です。

新任 委員長 安藤 高さん

委員 門脇正志さん

委員 中西 進さん

再任 委員 村上正光さん

同委員会は4人で構成。公正な選挙を行うための管理業務をはじめ、選挙人名簿の調製や有権者への啓発活動などを行っています。

視覚障がいを乗り越え夢に向かって 努力する大切さを音楽を通じて伝える

「人権」について身近に感じる機会を設けようと、人権フェスティバル「つなげて未来（みらい）や」が12月4日、広瀬中央交流センターを会場に開催されました。安来市人権・同和教育推進協議会などで構成する実行委員会が企画し、今回で9回目になります。

ステージでは広瀬中学校2年の朝木翔子さんと1年の平野由佳さんが「少年の主張」を発表。このうち朝木さんは実体験を元に「自分の思いを相手に伝えてみませんか」と呼びかけました。

引き続き行われた公演会で



▲（上）前川さんのコンサートの様子
（下）小学校の児童が一人権擁護委員に任命され、会場で啓発活動を行いました。

は、視覚障がいのあるピアノスト・シンガーの前川裕美さんが登場。前川さんは進行性の難病「網膜色素変性症」のため20代で完全に失明。徐々に障がいが進む中、高校卒業後には単身で渡米。作曲・編曲・声楽・ピアノを学び6年間の留学を経験しています。演奏の合間にはこうした自身の体験を話し「障がい者はコミュニケーションをとってもらい、同じ空間を生きていきたいらうしい」と来場者に自分の思いを語りかけました。

このほか会場には販売・展示コーナーが設けられ、多くの人が賑わいました。